



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第145号
令和3年2月号

日本の伝統行事「節分」

この1年の平穩無事を願って！

1年で最も寒くなる時季「大寒」も過ぎ、今週水曜日（2月3日）には「立春」を迎え、暦の上では春になります。徐々に暖かくなり、木々の芽も少しずつ膨らんでいきます。生き物も春に向けての準備を始める時季です。

季節の変わり目は、「立春」「立夏」「立秋」「立冬」と4回あり、その前日を「節分」（「季節を分ける」という意味）ということから、本来「節分」は1年に4回あります。ところが、立春は日本の旧暦の1年の始まりにあたる日で、特に大切にされたことから、立春の前日の「節分」を特にめでたい日、1年の最後の日「大晦日」とされてきました。そのため、「節分」といえば春の節分のみを指すようになっていったようです。

「節分」には、家から悪いもの（鬼）を追い払い、良いもの（福）を呼び込むために、豆まきをするという伝統行事があります。諸説ありますが、季節の変わり目には邪気（鬼）が生ずると考えられており、その邪気を追い払うために豆をまくという説や、大晦日に1年の邪気を祓い、新しい年を清めた状態で迎えるための儀式として行われるようになったという説があります。



いまだ新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず、心配な日々が続きますが、家族みんなで「鬼は外！福は内！」とコロナの心配を吹き飛ばすように、元気な掛け声で豆まきをされてはいかがでしょう。立春を迎え、皆さんが新たな1年と改めて向かい合い、前を向いて充実した日々を過ごされることを願っております。杭州っ子とご家族皆様にとって、平穩無事で健康に過ごせますよう、教職員一同心より祈っております。



2月11日（木）からは春節に伴う11日間の休業に入ります。例年でしたら中国のお正月「春節」をご家族で楽しく過ごされたり、旅行に出かけたりするところですが、新型コロナウイルス感染症の感染も予断を許さない状況が続いています。「新型コロナウイルス感染症対応に関わるお知らせとお願い」（1月18日付配布文書）でもお願いをしまし

たが、浙江省及び杭州市政府から外出や移動の制限が出ていることから、休業中もご家族の健康管理には十分にご注意いただき、「不要不急の外出を控える」、「大人数での会食を控える」など、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。春節に伴う休業明けには、元気な杭州っ子の笑顔と再会したいと願っております。どうぞ、ご家族そろって特別な春節休みをお過ごしください。

